

報告日：2014年4月11日

第3回 南相馬アグリサイエンスカフェ 実施報告書

一般社団法人 南相馬除染研究所

Coordinator 猪狩 達也

実施背景

当研究所は、去る2011年3月11日の東日本大震災と、それに伴って発生した東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能災害からの復興活動において、行政組織や既存団体と協力しながら早期の復旧・復興を行うことを目的とし、放射能測定や除染活動、地場産業の構築等に貢献する為の活動を行っております。

当研究所が位置する福島県南相馬市は、震災直後から原子力災害特別措置法に基づく警戒区域、避難指示区域等の区分けがなされ、年月の経過に伴ってそうした区分けが変化するなど、一般市民が大きく戸惑う事態に至りました。その一方、本来は農業が盛んな地域であり、今日に於いても農作物の作付けや耕作を思い悩む住民も多く存在します。

そうした地域背景もあり、南相馬市民の原子力や放射能などに関する科学研究に対する関心が高いことから、2013年度に農業や放射能に関する市民講座等を実施致しました。本報告では、第3回南相馬アグリサイエンスカフェについて報告致します。

実施概要

日時：2014年3月15日（土） 14:00～17:30

場所：南相馬市 小池長沼応急仮設住宅

主催：一般社団法人 南相馬除染研究所

共同企画：ベテランママの会 協力：(独)日本原子力研究開発機構

講演：

第1部 「ベテランママの会の働き」 番場 さち子氏（ベテランママの会）

第2部 i. 「放射線の基礎知識と東海村のモニタリングの現状」

永岡 美佳氏（(独)日本原子力研究開発機構 放射線管理部）

ii. 「福島県の放射線・放射能レベルは？～国、県のモニタリングデータから～」

藤田 博喜氏（(独)日本原子力研究開発機構 放射線管理部）

第3部 「皆で考える震災の影響～震災後の脳卒中の増加は、何が原因か？～」

及川 友好氏（南相馬市立総合病院 副院長）

第4部 「マルチコプターで放射線測定？～飛ばして測定してみましよう～」

矢野 昌平氏（国立長岡工業高等専門学校）

ファシリテータ：加藤 茂明氏（相馬中央病院 放射線対策室室長）

講演詳細

第1部 「ベテランママの会の働き」

ベテランママの会 番場さち子氏から、上記タイトルでのご講演をいただきました。

震災後、ベテランママの会の発足から活動してきた内容についてお話しいただきました。南相馬市民のため、子供達のために今まで活動してこられた軌跡は、素晴らしいものばかりであると感じました。ベテランママの会とこれからも連携していきたいと思います。

第2部 i. 「放射線の基礎知識と東海村のモニタリングの現状」

日本原子力研究開発機構の永岡美佳氏から、上記タイトルでのご講演をいただき、日本原子力研究開発機構の藤田博喜氏に補足説明をしていただきました。

感じる事の出来ない放射線の基礎知識のおさらいから、茨城県那珂郡東海村の放射線線量モニタリングの条件、茨城県沖で捕れた魚類の成分測定結果などお話しいただきました。東海村のモニタリング状況や、日本原子力研究開発機構の事について多くの質問が飛び交い、とても有意義な議論ができたのではないかと思います。

質疑応答によって、汚染された魚類などを食べた場合、魚に含まれている放射性元素ごとにどの程度の内部被ばくとなるのか等、深く知ることが出来ました。

第2部 ii. 「福島県の放射線・放射能レベルは？～国、県のモニタリングデータから～」

日本原子力研究開発機構の藤田博喜氏から、上記タイトルでのご講演をいただきました。

国や県で公開しているデータを使い、公開されているデータの見方などをお教えいただきました。陸上の空間線量率だけでなく、海上の試験操業などのデータも見せていただきまして、興味を持って情報を集める事の必要性和大切さを改めて感じました。

第3部 「皆で考える震災の影響～震災後の脳卒中の増加は、何が原因か？～」

南相馬市立総合病院の及川友好氏から、上記タイトルでのご講演をいただきました。

震災以前から、福島県の脳卒中になる方の割合が多い事、震災後脳卒中患者が増加していて、特に若年者層が増加していることをお教えいただきました。震災後の脳卒中になるリスクが、震災前と比較し2.4倍に増加しているそうです。震災後にお肉を食べる機会が増えたことと、元来南相馬の人が濃い味付け（醤油など）を好む傾向にあること、仮設住まいなどのストレスで急に太ったり痩せたりする方が増えるなどで、南相馬が高血圧になりやすい環境になっていることが原因として挙げられました。

及川氏は、これからも健診などからデータを取り、フィードバックとフォローアップをする予定であるということで、私達市民にとってとても頼もしく感じました。

第4部 「マルチコプターで放射線測定？～飛ばして測定してみましよう～」

長岡工業高等専門学校矢野昌平氏から、上記タイトルでのご講演をいただき、(株) FUIJapan の植山宏哉氏に補足説明していただきました。

放射線測定器をマルチコプターに付け、上空の放射線線量率を測定できるものを紹介していただきました。実際に仮設の外にて飛行実験も行い、かなり高い高度まで飛行していました。今後も南相馬除染研究所でお手伝いをして、もっと良い製品にしていければと思います。

講演総論

参加人数として、前回、前々回は 20 名前後であったのに対し、今回は仮設住宅での開催ということもあり、50 名以上の方々に参加していただきました。その面だけでもとても良いイベントになってきたと感じます。

今回のテーマは「震災の影響について」ということで、「アグリ（農業）」の部分はあまりありませんでしたが、震災の影響はどうだったか、震災が起こってからどのように活動してきたか、これからどのような活動をしていきたいか、ということを発表していただきました。また、コーヒーとチョコレートを提供し、講演された方々に参加者が質問しやすい環境を作れたことで、いわゆる「講演」ではなく、「サイエンスカフェ」の趣旨である「カフェのような雰囲気の中で気軽に科学を語りあう場」を主に仮設住宅暮らしの方々に提供できた、良いイベントになったのではないかと思います。

今後も南相馬アグリサイエンスカフェを継続して行う上で、多くの方に参加していただき、積極的に語り合うことのできる場を作ることで、参加者に“来てよかった”と思ってもらえるイベントにするべく努力していきたいと思えます。

第 3 回南相馬アグリサイエンスカフェの講演の内容は、Youtube, USTREAM で配信しております。URL は以下の通りです。

Youtube (1/2) : <http://youtu.be/slAom3VWqpk>

Youtube (2/2) : http://youtu.be/1Qyo_tbesUw

USTREAM (1/2) : <http://www.ustream.tv/recorded/44905221>

USTREAM (2/2) : <http://www.ustream.tv/recorded/44910538>

資料 1. 講演チラシ

南相馬アグリサイエンスカフェ

農業を科学する～アグリサイエンス～。今回は、震災の影響について考えてみたいと思います。誰でも参加大歓迎です。

日時:
3/15(土)14時～16時半

場所:南相馬市小池長沼
応急仮設住宅 東集会場
(鹿島駅から県道267号を通り、右に曲がった所)



第一部: (14:00-14:40)
「ベテランママの会」の働き
香場さち子氏(ベテランママの会)

第二部: (14:40-15:40)
1)「放射線の基礎知識と東海村のモニタリングの現状」
永岡 美佳(日本原子力研究開発機構 放射線管理部)
2)「福島県の放射線・放射能レベルは?～国、県のモニタリングデータから～」
藤田 博喜(日本原子力研究開発機構 放射線管理部)
3)「マルチコプターで放射線測定?～飛ばして測定してみよう～」
矢野 昌平(国立長岡工業高等専門学校)

第三部: (15:40-16:20)
皆で考える震災の影響～震災後の脳卒中の増加は、何が原因か?～
及川友好氏(南相馬市立総合病院 副院長)

ファシリテータ 相馬中央病院 WBC室長 加藤茂明氏

お問い合わせ:ベテランママの会 香場 まで
TEL:0244-23-3918 mail:bamba-seminar@salsa.ocn.ne.jp
主催:(社)南相馬除染研究所 共同企画:ベテランママの会
協力:(独)日本原子力研究開発機構



資料 2. 講演の様子

